社高教育課程実践モデル事業通信

3 号 2018.1.16

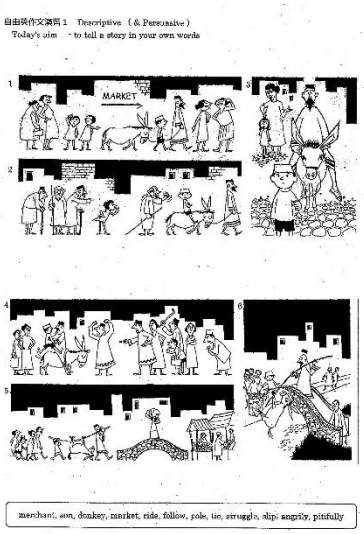
岡山芳泉高校　コミュニケーションディを参観して

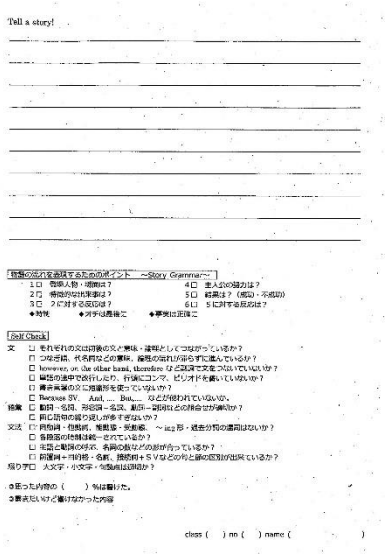
11 月１５日、進学重視型単位制高校の岡山芳泉高校の授業を参観してきました。３年生で行われた英語表現Ⅱの授業を紹介します。

＜授業の流れ＞

右のプリントを使って、授業が展開されました。

イラストの物語を自分の英語で表現する、という内容です。





（授業の手順）

① 目標の確認（10 分）

② イラストを説明する英語を自分で考える（10 分）

※メモは即興で話すため、語句かフレーズのみ

③ 口頭練習　（20 分）

２分ずつのペアワーク

ペアをかえて３回行う

④ ライティング

口頭練習した内容をもとに個人で文章に直し、英文を書く。

⑤ 振り返り

この授業で印象的だったのは、先生がひたすら黒子に徹していたということです。タイムキーパーとしての役割以外では姿が全く見えませんでした。

最初の説明でこそ先生の姿は見えていたのですが、先生の指示は最小限の英語のみでした。生徒たちはお互いにわからなかったところなどを教えあいながら、自律的に聞いていました。

展開②以降はほぼ生徒たちの活動のみで授業は進行していきます。

＜感想＞

生徒の口頭練習で、イラストを英語に直して話す勢いにまず驚きました。最初は 2 分では説明し終わらないのでとても悔しそうですが、回を重ねると説明できる生徒が現れ始め、時間いっぱい一生懸命話している様子は印象的でした。そして最後の 5 分はそれまで話していた英語を書く活動でしたが、生徒が英語を書くスピードの速さに驚くばかりでした。普段の指導があってこその姿です。黒子に徹していた先生の指導力に圧倒された一時間でした。　（英語　永田里美）